

毎日持ってきていただくもの



項目	0才児	1才児	2歳児	3才児	4才児	5才児	備考
1. 連絡帳	○	○	○				園で購入
2. 出席ノート				○	○	○	園で購入
2. おしぶり	○	○					ハンドタオル・タオルハンカチ
3. 食事用エプロン	○	○	○				袖なしのもの
4. おやつ用エプロン	○	○					
5. 哺乳瓶 (ミルク用・お茶用)	○						慣れたらマグカップに変更
6. 給食セット (スプーン・フォーク・はし 給食用ナフキン)			○	○	○	○	3点セットは巾着袋に入れる。給食用ナフキン。2歳時はのちお箸を使用
7. ナイロンバッグ				○	○	○	園で購入、黄色カバン
8. コップ		○	○	○	○	○	
9. マグカップ (お茶・水)	○	○					
8. 水筒 (お茶・水)			○	○	○	○	
9. 着替え	○	○	○	○	○	○	
10. 紐付き手拭き タオル	○	○	○	○			0歳時は途中から使用、3歳時は途中からハンカチに変更
11. ハンカチ				○	○	○	タオルハンカチ 2枚程度

保育園においておくもの



項目	0才児	1才児	2歳児	3才児	4才児	5才児	備考
1. オムツ	○	○	○	必要に応じて			5枚～10枚程度
2. おしり拭き	○	○	○				1個、名前の記入
3. ポリ袋	○	○					うんち処理用
4. スーパーの袋	○	○	○	○	○	○	
5. 着替え・下着含む	○	○	○	○	○	○	各自のロッカーに入れる
6. カラー帽子	○	○	○	○	○	○	週末に持ち帰り
7. 屋上用靴			○	○	○	○	靴袋に入れて保管
8. お布団一式・バスタオル	○	○	○	○	○		週末に持ちります
9. ベスト(防寒具)	○	○	○				冬用

◆ 保育園にはたくさんのお子さんがおられますので、すべての持ち物・着替え・オムツの1枚1枚まで必ずはっきりと名前を書いていただき、時々名前が消えないか等の確認もお願いします。また、譲って頂いたものにも必ず名前を書き替えてください。

※季節に応じての衣替えもお願いします（衣替えの時期にはご連絡いたします。）
◆ 持ち物は必ず毎日の点検と補充をお願いします。

購入いただいたものの

項目	価格	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
れんらくちょう	300円	○	○	○			
出席ノート	510円				○	○	○
おたよりファイル	290円	○	○	○	○	○	○
カラー帽子	1070円	○	○	○	○	○	○
自由画帳	200円		○	○	○	○	○
クレヨン	600円		○	○	○	○	○
のり	170円			○	○	○	○
粘土	500円				○	○	○
粘土ケース	260円				○	○	○
粘土へら	260円				○	○	○
粘土板	480円				○	○	○
はさみ	490円				○	○	○
お道具箱	770円				○	○	○
サインペン	570円					○	○
カスタネット	310円				○	○	○
ピアニカホース	440円					○	○
ゴム印	280円	○	○	○	○	○	○
雑費徴収袋	190円	○	○	○	○	○	○
通園リュック	3340円				○	○	○
スマック	2200円		○	○	○	○	○
制服	4700円				○	○	○
体操服上 (半袖) (長袖) (トレーナー)	2200円 3100円 3100円				○	○	○
体操服下 (ショートパンツ) (長ズボン)	2200円 2800円				○	○	○



保育施設の利用にあたっての留意事項

下記の留意点を守っていただきますようご協力お願いいたします。

- ・自転車で送迎の方は通行される方の迷惑にならないよう整理して駐輪して下さい。
- ・病気などで欠席、遅刻がある場合は、朝9時20分までにご連絡下さい。
- ・お迎え時間が予定時刻よりも早くなる場合や遅くなる場合にもご連絡下さい。
- ・れんらくちょうは毎日よく見て忘れずに記入し、朝提出して下さい。
- ・保育園より月に一度、園の様子や行事を書いた『園だより』を発行しています。その他、お手紙等も必ず目を通して下さい。
- ・緊急時の連絡、急なお願い、お知らせをアプリ「パピーナ」にて送信しますので、必ずご覧下さい。
- ・保育園に登園の際は園児が動きやすい靴、服装で登園するようお願いします。
- ・食べながらの登園はおやめ下さい。お部屋まで食べ物を持ち込みは、アレルギーをお持ちのお子さんたちに大変危険ですのでおやめ下さい。
- ・保育園にはおもちゃ・お菓子・お金等をお持ちにならないようお願いします。
- ・誤飲防止の為、髪留めやピン、ヘアゴム（プラスチック製のアクセサリー×）、カチューシャは取れやすく危険で且つ壊れやすいので危険ですので禁止とします。長い髪のお子さんは結んで下さい。怪我や紛失、破損されても園では責任を負いかねますのでご理解下さい。
- ・虫よけリング・虫パッチは、子どもの事故につながりますので、園内では使用しないで下さい。園では虫よけスプレーで対応します。虫よけスプレーが使用できない方は申し出下さい。
- ・住所、勤務先、緊急連絡先等の変更がある場合は、必ず事務所または担任へご連絡下さい。
- ・通園カバンやリュックサック等にシール・キーホルダー・缶バッヂなどつけないでください。トラブルの原因になります。
- ・予防接種は降園後または休みの日に受けて下さい（登園前に予防接種を受けられて場合、お子様をお預かりすることができません。）
- ・保育時間中は園児の事故防止の為、電話・面会等による保育士の呼び出しはご遠慮下さいますようお願いいたします。
- ・ホクナリンテープ・ツロブテロール（気管支拡張剤）を登園する場合はお薬依頼書が必要です。
- ・受入れ前、引渡し後の園内での事故、怪我については当園では責任を負いかねますので、送迎は保護者の方が責任をもって事故のないよう十分にお気を付けください。
- ・土曜保育は、ご両親ともにお仕事の場合のみのご利用となります。
(土曜保育を利用される方は、別途登録が必要となります。)
- ・ご両親のどちらかが、お仕事がお休みの時は家庭保育をお願いいたします。



防災と安全管理について

(防災対策について)

毎月、避難訓練・消火訓練・地震・津波・不審者訓練等を行っています。年二回の引渡し訓練を行います（非常災害時における引渡しカード、名簿作成にご協力お願いします。）

◆ 災害時の避難場所について

保育中に地震災害や事件、事故等により帰宅困難に陥った場合は、お子さんの安全を第一に無事に降園して頂ける状態になる迄、お預かりさせていただきます。
(状況によりほかの場所になる事もありますのでご了承ください。)

一時避難場所（災害時の危険を一時的に避難する場所）	：公団住宅前広場
広域避難場所（大人数収容できる避難場所）	：下福島公園
地震・津波避難場所（地震による津波の場合）	：第二和光園屋上
災害時収容避難場所（一定期間避難生活ができる場所）	：鷺洲小学校
高潮・洪水避難場所（3階以上の建物）	：鷺洲第二公団3・4階

(防犯対策について)

監視カメラを設置しています。朝はボランティアさんが見守ってくださっています。ボランティアさんがいる間、開門しています。朝9:00～夕方7:00の時間帯は施錠しています。

※入園許可証を各家庭に2個配布いたします。送迎時には必ず見えるところに携帯し、インターフォンでは入園証を見せてお名前をお知らせください。

(入園証は2個以上必要な方はお知らせ下さい。)

(災害時の対応について)

暴風警報・台風に伴う警報・地震、津波、火災等についての措置については、臨時休園または保育時間の短縮、保育時間を遅らせることがあります。

- ・ 7時警報発令・・・・・・・・・・・・ 自宅待機
- ・ 7時～10時迄に解除の場合・・・解除時点で登園可能 要連絡・お弁当持参での保育となります。解除後、職員の受け入れ態勢が整い次第パピーナにて開園時間を連絡します
- ・ 10時以降の解除の場合 ・・・ 臨時休園とさせていただきます。

- ・ 保育中に暴風警報が発令した場合は、周りの安全を確認しながらできるだけ早めにお迎えをお願いします。台風情報には十分お気を付け下さい。
- ・ 災害時・暴風警報等の連絡は、アプリ「パピーナ」にて園からお知らせします。必ず、アプリ「パピーナ」をダウンロードし登録をお願いします。クラスごとお知らせ等もありますので、お子様一人一人の登録をお願いします。
- ・ 原則決定事項通りではありますが昨今の災害状況を鑑み、やむを得ず臨時休園になる場合がございますのでご理解の程よろしくお願ひいたします。

特別支援教育・障がい児保育の取り組み状況

地域社会の中で、障がいのある子どもと、ない子どもが共に育ちあう基本的な考え方として障がい児保育を行っています。

生活と健康

- 健康生活のポイント
- ① 生活のリズムを整える
 - ② 十分な睡眠をとる
 - ③ バランスのとれた食事

◆ 生活について

(食事とおやつについて)

自園で給食（離乳食）おやつを手作りしています。

給食は独自の献立を栄養士が栄養計算をし、バランスの取れた食事を提供します。

基本、ごはん、おかず、しるもの、という献立です。

離乳食についてその日の献立の食材を利用して初期、中期、後期に分けて作っています。離乳食の進め具合についてはここに保育士に相談下さい。

※登園が大幅に遅れる場合、給食は0・1・2才児クラスは12:00まで、
3・4・5才児クラスは12:30までは用意しております。

(特別食について)

食物アレルギーにおけるアレルギー対応食は保護者の方と情報を共有しながら医師の指導に基づいて提供したいと考えています。アレルギー対応の開始にあたってはかかりつけ医のデーターと除去食の提出をお願いします。栄養士と必ず相談の上確認を行って下さい。一般的に成長するに従って除去が必要な食品は減っていきます。定期的な受診、指導票の再提出もお願いします。食品の除去が解除になりましたら、解除届の書類を提出して下さい。

(汚れ物について)

オムツは園で処分致します。便は、感染性の微生物が含まれている可能性がありますので、園では洗えません。なので、汚れものの衣服は洗わずにビニール袋に入れて持ち帰ることになります。血液も同じく、鼻血等で汚れた場合も洗わずに持ち帰ります。ご理解・ご協力宜しくお願ひします。

(衣類について)

●0歳児～2歳児は、私服着用となります。1・2歳児は、自分で着脱出来たという達成感、満足感を感じられるよう、自分で脱ぎ着しやすい服装、靴をお願いします。フードやスカート、ひも等付きの物はご遠慮ください。衣類は清潔にお願いします。防寒具は、ベストタイプのものをお願いします。

●3歳児～5歳児は、体操服を着用します。

登降園時は、必ず制服を着用してください。

(気温の高い時期の5月～10月は体操服のみでも結構です)

体操半袖シャツで、肌寒い場合は、体操長袖シャツを着用してください。

体操半袖シャツの下に長袖インナーの重ね着はご遠慮下さい。

※髪を結ぶゴムは固いアクセサリーやヘアーピンもやめてください。服、靴、持ち物全てのものにわかりやすい場所に名前を記入して下さい。

(毎日の健康管理)

登園前又は登園してから必ず検温して頂き、お子さんの体調を確認し、毎朝各クラスの健康表に熱、体調を記入して下さい。お子さんの平熱を知っておくと体調の変化に気づく目安になります。

(登降園について)

朝の準備等は、0・1・2才児クラスは保護者の方が、各クラスで準備をおねがいします。3・4・5才児クラスは、子ども、もしくは職員がしますので、荷物は所定の位置に置くだけで結構です。健康調べ表は、毎朝必ず記入してください。降園時は、お部屋の入り口で、お待ちください。職員が、入口にてお子様をお渡しします。

(登園基準)

登園については「保育所における感染症ガイドライン」「学校において予防すべき感染症および出席停止の基準」を基準としています。登園許可の必要な感染症に罹った場合、所定の登園に関する意見書を医師に記入してもらってから登園して下さい。

- * 医師の登園許可が必要な感染症と、保護者の方が記入し提出する登園届が必要な感染症がありますので、感染症登園基準表をよくご覧になってください。
意見書・登園届は園に置いています。

- * 怪我や虫刺されのかきむしり等の傷口が乾いていない場合は、その傷口を保護して来て下さい。とびひの原因になりますので隠しきれない場合によっては、登園を御遠慮頂くことがあります。

◎下記の症状がある場合は、お休みをお願いします。

- ・発熱(37.5°C以上)の場合
- ・解熱後、24時間経過していない
- ・発熱はないが、嘔吐、下痢症状がある
- ・発熱はないが、咳がひどい時

(体調が悪い時)

- * 体調が悪くお休みされる場合や通院などで登園が遅くなる場合は9:20までにはTEL下さい。登園後、発熱がある時や下痢嘔吐で体調がすぐれない場合はお子さんの状態をお伝えしますので、至急お迎えをお御協力お願いします。また、連絡先が変わる場合は必ず連絡下さい。

(園における薬)

日本保育園保健議会では、「保育園へ登園する子ども達は、ほとんど集団生活に支障がない健康状態にあり通常業務として保育園では薬を扱うことはない」とされています。しかし、子どもというのは頻繁に体調を崩しやすく、医療機関へ通うことになると思います。受診の際に、子どもさんが保育所に通っていることを伝えていただき、内服時間は「朝・夕」や「朝・夕・寝る前」にできないかと御相談下さい。その上でどうしても保育時間内に服用する必要がある場合は、お薬依頼書に記入の上、薬と一緒に手渡しするようお願いします。

* 薬は現在の病気にたいして医師が処方したものにして下さい。

(市販薬はお預かり出来ません)

* 虫よけスプレー等は、園で対応しておりますので、虫よけパッチ、虫よけリング等は、乳児には危険ですので、園にはつけてこないようにしてください。

次のお薬はお預かりできません。

- ・塗り薬：かゆみ止め、保湿剤など
- ・点耳薬、吸引薬

※ただし、アトピー性皮膚炎など炎症症状がひどい場合はご相談下さい。

※投与期間終了後、投薬依頼書は園での保管となります。

(予防接種)

子どもは病気にかかりやすく、かかると重くなることがあります。それを防ぐためには免疫をつくり感染症から身を守ることが大切です。また子ども達が集団生活をする園では、その子自身の病気を予防するだけでなく他の子にうつして感染症が蔓延するのを防ぐため、予防接種がとても大切です。尚、接種後の副反応を考慮し、登園する前に病院に寄り接種してくることはひかえていただいております。

* 接種は、降園後かお休みの日にお願い致します。



【保育・教育理念】

- *子どもの健全な育ちの支援提供
- *一人一人が自分らしく輝く保育実践を目指す

【保育・教育方針】

- *一人一人の個性を尊重し情緒を安定させ自分らしさを發揮できる環境を整える
- *基本的な生活習慣の習得を援助し、心身ともに調和のとれた発達を図る
- *様々な実体験を通して豊かな感性や創造性を培う

【保育・教育目標】

- *自分も他人も大切にする
- *自分で考え、自分で選び、自分で行動する
- *身体も心も逞しく育つ